

# 令和元年度決算を

# 議会が

# チェック

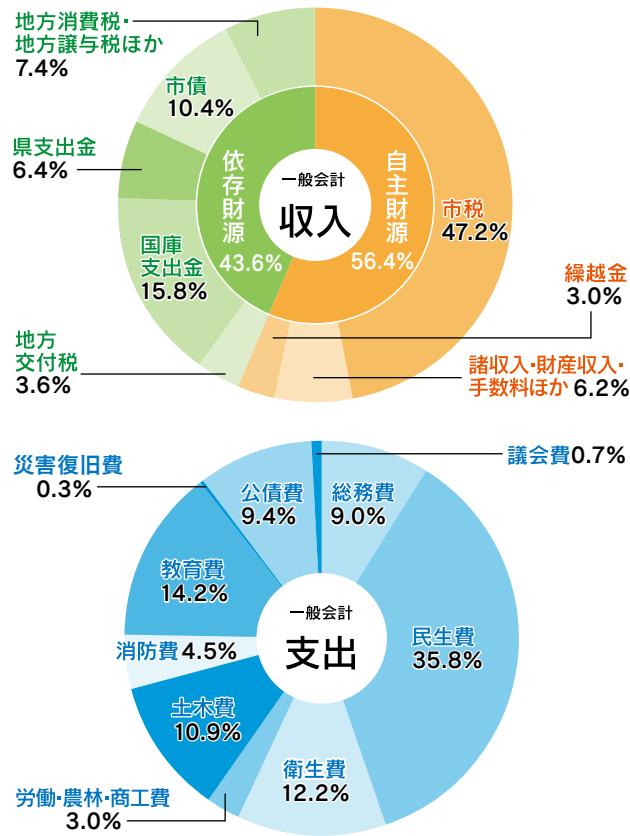
市は予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や、今後の予算や事業計画への要望を伝えます。

三島市議会では、総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会で計6日間にわたり審査を行い、9月定例会の最終日に各委員会が報告を行いました。

その後、賛成・反対の討論を行い、賛成多数で「認定」しました。

本会議での委員長報告や討論の様子は市議会ホームページで映像を見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。



**一般会計決算**

収入	支出
375億1,718万円	370億3,345万円

**特別会計決算**

会計	収入	支出
国民健康保険	115億3,413万円	114億3,549万円
介護保険	79億1,351万円	77億6,409万円
後期高齢者医療	13億9,460万円	13億8,859万円
墓園事業	1,704万円	464万円
駐車場事業	6,044万円	5,585万円
合計	209億1,972万円	206億4,866万円

**公営企業会計決算（水道事業会計）**

区分	収入	支出
収益的収支	15億5,442万円	12億8,269万円
資本的収支	4億8,233万円	10億4,525万円

**公営企業会計決算（下水道事業会計）**

区分	収入	支出
収益的収支	22億5,197万円	22億4,453万円
資本的収支	14億2,518万円	21億1,036万円

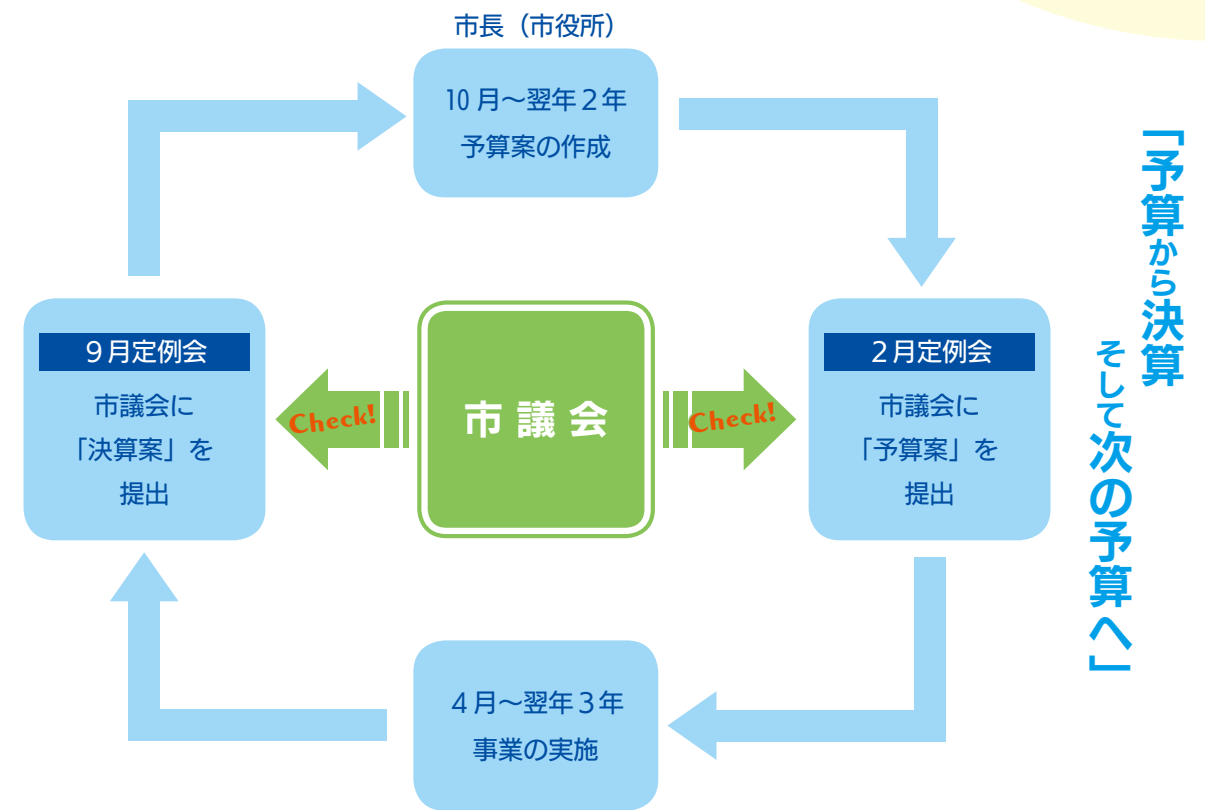
令和元年度決算における4つの健全化判断比率などが報告され、三島市の財政は国の基準を大きく下回り、引き続き財政の健全化は保たれていました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
三島市	-	-	6.2	14.9
	-	-	5.6	10.6
	-	-	5.2	19.4
早期健全化基準	12.38	17.38	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

\*実質赤字比率、連結実質赤字比率は、三島市は赤字が生じていないため「-」の表示となります。

実質公債費比率とは収入に対する借金返済の割合です。借入利率の低下により、良化しました。

将来負担比率とは財政規模に対する借金残高の割合です。借金残高の増加などにより、悪化しました。



## 令和元年度決算と9月定例会の流れ

令和元年度事業終了

出納整理期間  
3月31日です会計年度は終わりますが、光熱費などは4月1日以降に請求されるため、前年度の支払等の整理期間があります。

決算書をつくる

決算書や市政報告書などを作成

監査委員による決算監査

監査委員2人が決算書や付属資料をもとに審査し、意見書を作成

9月定例会

議案や、令和元年度決算に関する提案説明

議案審議 P8～9へ

決算審議 P8～9へ

常任委員会へ付託

委員会  
決算審議 P4～6へ  
3つの常任委員会です所管する各分野を専門的に審査する

一般会計 P10～15へ

本会議  
議案審議 P8～9へ  
委員会の審査経過や結果などについて報告  
採決の前に賛成か反対かの意見を表明

採決

